

新宮山彦ぐるーぷ第2398回

行仙宿、へり荷揚げの到着待ちと荷捌き

◇実施日 10月29日(水) 晴

◇参加者 沖崎吉信、畑林秀味、西克、杉本和巳

梶野照雄、村吉光夫、瀧本昭太郎(前泊) 7名

この日は午前9時にフライトが開始され、最初の便で我々の荷物が届く予定だ。午前9時前に行仙宿に着く必要があるので、午前6時過ぎに新宮を出た。登山口に着き、ほどなく到着した西さんと、畑林君のお二人に先に登っていただき、沖崎は梶野君が降ろしてくれるモノレールを待った。杉本さんも到着し、2人でモノレールに乗って登りだした。



へりが到着



荷物を集める

梶野君は電源開発の到着に合わせ午前6時半に一度モノレールを降ろし、午前7時40分に再びモノレールを降ろしてくれた。今日はマキを6束持参したので二人で手に持って小屋に向かった。午前8時半過ぎに行仙宿に着く手前でへりの飛来音が聞こえてきたので、急ぎ足で小屋に向かった。小屋に着いて聞いてみると、荷物を降ろす場所の確認で、これから池峰のグラウンドにいったん着陸して荷物を吊り上げてから行仙宿に向かうらしい。電源開発の3名と我々7人でへりの到着を待つ。午前8時57分、頭上にへりがホバリングを始め、徐々に高度を下げて行く。真下で待機していた電源開発の3名が手で合図して降ろす位置をへりに伝え、2分ほどで荷物は地面に降ろされた。



電源社員が下山

本日の参加者

無事下山

離れた場所で待っている我々にも強い風圧があり、暫く飛んでくれたら小屋屋根の落ち葉がきれいになると思ったほどだった。全員でモッコから元を出して少し離れたところに集める。この後一輪車

と人力でお堂前に移動した。電源開発の若者はコンクリートブロック5枚を背負子で運ぶなどご協力を頂いた。なお、この日電源開発の社員は8人で、殆どが笠捨山方向の鉄塔で工事。行仙宿でヘリ対応の3名のうち1名が鉄塔工事に向かい、残りの2名は25kgのモッコ背に下山した。下山は梶野君がモノレールで登山口までサポートした。お堂前に集めた荷物を種類別に分け、ブルーシートを被せるなどして作業を終えた。この後、コマツハウスにデポした丸太や段差材を各自2度、3度と小屋迄往復して運んだ。お昼前になり今日の作業はここまでとし、昼食を摂った。村吉さんは一人残って丸太の防腐剤塗りを行うそうだ。下山し帰り道に、沖崎、畑林の2人で浦向の大進工業に立ち寄り、行仙岳の国土地院局舎工事のモノレール使用について打合せを行い帰宅した。行仙宿に前泊されたお三人は大変ご苦勞様でした。

(記：沖崎)

行動タイム

補給路登山口 08：03→08：30 行仙宿 12：05→12：35 補給路登山口